

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
設定日	2018年10月10日	
信託期間	2018年10月10日から2045年9月25日	
運用方針	「UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)」および国内投資信託であるUBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け) を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標とします。	
主な投資対象	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	上海証券取引所および深セン証券取引所のA株を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指します。
	UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	UBS短期円金利プラス・マザーファンド受益証券を通じて、または直接わが国のCP (コマーシャル・ペーパー)、政府短期証券、コール市場等の短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行うことにより、短期円金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
主な投資制限	<p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。ただし、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会規則に定めるエクスポージャーがリックスルーできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>③株式への直接投資は行いません。</p> <p>④デリバティブ取引 (法人税法第61条の5に定めるものをいいます。) の直接利用は行いません。ただし、指定外国投資信託および指定国内投資信託においてはデリバティブ取引を行う場合があります。その場合は、価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。</p> <p>⑤外貨建資産への直接投資は行いません。</p> <p>⑥一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがって当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>	
分配方針	<p>毎決算時 (毎年3月25日、6月25日、9月25日および12月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。) に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、計算期末の前営業日時点の基準価額水準、市況動向等を勘案して委託者が決定します。なお、基準価額水準が1万円 (1万円当たり) を超えている場合には、上記①の範囲内で分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。</p> <p>③収益の分配にあてなかった利益については特に制限を定めず、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。</p>	

UBS中国A株ファンド (年4回決算型) 愛称：桃源郷・年4

運用報告書 (全体版) (第11作成期)
第21期 決算日 2023年12月25日
第22期 決算日 2024年 3月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBS中国A株ファンド (年4回決算型)」は、去る3月25日に第22期の決算を行いましたので、第21期～第22期 (第11作成期) の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部
03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2024. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

最近5作成期の運用実績

作成期	決算期(決算日)	基準価額 (分配落)	騰落率			投資信託 証券組入比率	純資産額
			税金	込み	中率		
第7作成期		円			%		百万円
	13期(2021年12月27日)	12,235		400	11.9	98.3	7,920
第8作成期	14期(2022年 3月25日)	10,769		0	△12.0	98.7	6,647
	15期(2022年 6月27日)	11,240		200	6.2	93.2	6,630
第9作成期	16期(2022年 9月26日)	10,103		0	△10.1	98.4	5,595
	17期(2022年12月26日)	9,912		0	△ 1.9	96.0	5,166
第10作成期	18期(2023年 3月27日)	9,983		50	1.2	96.0	5,138
	19期(2023年 6月26日)	10,194		100	3.1	95.8	4,969
第11作成期	20期(2023年 9月25日)	10,404		50	2.6	91.3	4,314
	21期(2023年12月25日)	9,110		0	△12.4	98.7	2,775
	22期(2024年 3月25日)	10,004		0	9.8	98.2	2,608

(注1) 基準価額は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

(注3) 投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。(以下同じ)

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第21期	(期 首) 2023年 9月25日	円		%	%
		10,404		-	91.3
	9月末	10,372	△ 0.3		96.8
	10月末	10,019	△ 3.7		99.1
	11月末	9,956	△ 4.3		99.2
	(期 末) 2023年12月25日	9,110	△12.4		98.7
第22期	(期 首) 2023年12月25日	9,110		-	98.7
	12月末	9,195	0.9		98.8
	2024年 1月末	9,337	2.5		99.0
	2月末	9,801	7.6		98.4
	(期 末) 2024年 3月25日	10,004	9.8		98.2

(注1) 基準価額は1万口当たり。

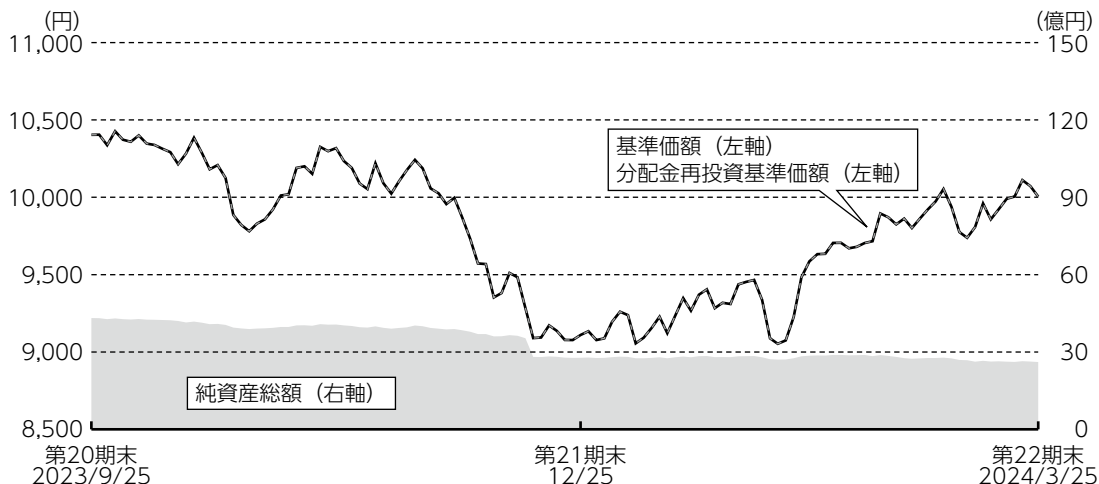
(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

運用経過

基準価額等の推移について

(2023年9月25日～2024年3月25日)



第 21 期 首：10,404円

第 22 期 末：10,004円（既払分配金 0円）

騰 落 率： -3.8%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のおお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当作成期の基準価額は、400円値下がりしました。なお、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は-3.8%となりました。

基準価額の変動要因

当作成期の基準価額は、実質組入株式の株価下落や、信託報酬の負担などのマイナス要因が、為替変動（円安・人民元高）などのプラス要因を上回ったことにより、値下がりしました。

投資環境について

当作成期の中国株式市場は下落しました。

作成期の序盤から中盤は、国内の不動産市況の低迷に伴う景気減速への不安や、半導体をめぐる米中対立の激化懸念などが重石となり、中国株式市場は下落基調で推移しました。作成期の終盤、中国人民銀行（中央銀行）の緩和的な金融政策や、政府による不動産市場の支援策の発表および景気支援策への期待感などを材料に株価は反発し、それまでの下落幅の多くを縮小しました。しかし最終的に、中国株式市場は前作成期末を下回る水準で作成期を終えました。

人民元／円レートの推移



ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）およびUBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）を主要投資対象とし、期を通じてUBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）への投資割合は90%以上を維持しました。

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）のポートフォリオについて

上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株のうち、各産業セクターを代表する銘柄を中心に投資しました。

●期中の主な動き

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

コミュニケーション・サービスでは、当局による価格統制圧力の緩和と5G（第5世代移動通信システム）向け投資が峠を越えたことで、今後は収益性とキャッシュフロー創出力の改善、および資本還元（増配）余地の向上が期待される国内最大の携帯通信サービス会社である中国移动（チャイナ・モバイル）を新規に組み入れたことで、セクターウェイトを引き上げました。また、予想以上に堅調な米国経済や、中東の地政学リスクの高まりなどを踏まえ、原油・天然ガスの生産量で国内最大規模を誇る国有エネルギー企業である中国石油天然気（ペトロ・チャイナ）を新規に組み入れたことで、エネルギーのセクターウェイトも引き上げています。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

一方、金融では、不動産不況の影響もあり、中国経済の低迷が長期化していることから、収益性の高い国内リテールビジネスの回復に想定以上の時間を要すると考え、商業銀行の平安銀行（ピンアン・バンク）を売却したほか、割安度は高まっているものの、不動産業界の信用不安の影響を免れないと判断した大手保険会社の中国平安保険（集団）（ピンアン・インシュアランス）についても保有比率を削減したため、セクターウェイトを引き下げました。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を実質的な投資対象とし、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当作成期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、無利子金融商品やコール・ローン等での運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

当作成期は、基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配を行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（1万口当たり・税引前）

項 目	第21期	第22期
	2023年 9月26日～ 2023年12月25日	2023年12月26日～ 2024年 3月25日
当期分配金	－円	－円
（対基準価額比率）	（ －％）	（ －％）
当期の収益	－円	－円
当期の収益以外	－円	－円
翌期繰越分配対象額	151円	151円

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資環境の見通し

中国政府は、現在抱えている経済の課題を認識しているため、過去数カ月にはわりと緩和的な政策を相次いで打ち出してきました。これまでの市場は中国株式に対して過度に悲観的であったと考えています。2024年の中国株式市場は昨年とは逆の展開をたどることが予想されます。昨年年初の株式市場は楽観的な見方で始まったものの、その後は同国の景気回復の遅れなどを嫌気して失望に転じました。一方、2024年の中国株式市場はマイナス圏のスタートとなりましたが、足元の中国株式のバリュエーションはすでに市場の悲観的な見方を織り込んでいると思われるため、今後は底打ちすることが予想されます。長期的な観点で中国経済は、足元の課題は大きいものの依然として成長軌道を維持しており、多くの潜在的な投資機会を有していると思われます。過去を振り返ると、中国は様々な危機的局面を乗り越えてきました。同国には、依然として優良企業が数多く存在しており、中には海外進出により躍進を遂げた企業もあります。これらの企業は、もはや低価格の加工貿易製品や一次加工品を生産しているのではなく、国際市場で世界的ブランド企業との競争に成功しており、不安定な市場環境下で様々な外部環境の変化に適応し、技術革新と研究開発に継続的な投資を行っているほか、コストを抑えつつ市場シェアを拡大しています。

このような状況から、中国株式市場はボトムアップのアクティブ運用の観点で、大きな投資機会があると引き続き考えています。

当ファンドの今後の運用方針

UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class) の投資比率を高位に維持する方針です。

UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class) の今後の運用方針

当ファンドは、銘柄選択を重視しており、長期的な勝ち組となり得る質の高い企業を発掘し、銘柄を厳選して投資を行います。今後もファンダメンタルズが良好な優良銘柄に割安な水準で投資できる機会をうかがいながら、運用を続けてまいります。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

マザーファンドへの投資を通じて、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

1万口当たりの費用明細

項目	第21期～第22期 2023/9/26～2024/3/25		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	60円	0.618%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,780円です。
（投信会社）	（16）	（0.164）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（43）	（0.438）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 2）	（0.016）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	4	0.038	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 1）	（0.010）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（ 2）	（0.028）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（ 0）	（0.001）	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	64	0.656	

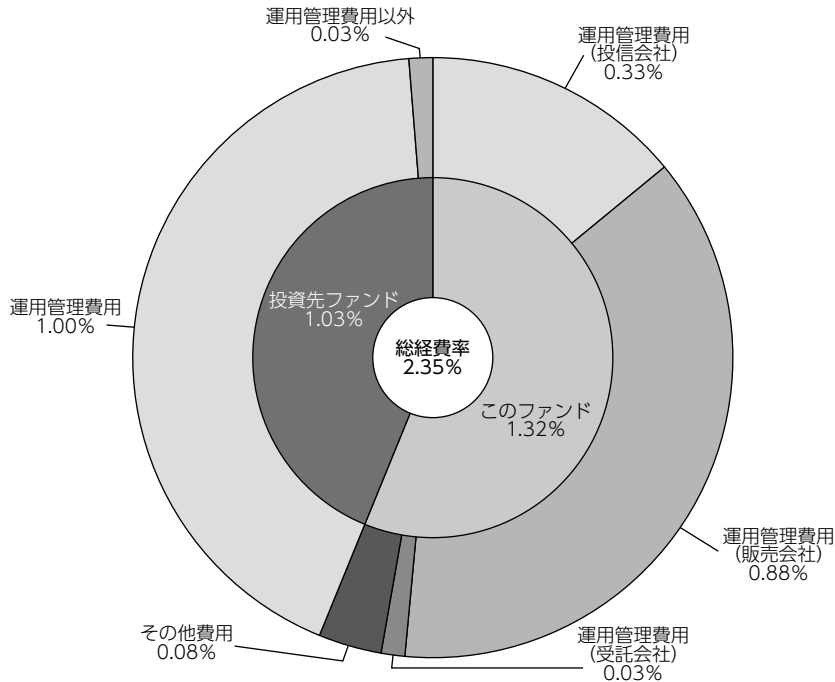
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報） 総経費率



総経費率 (①+②+③)	2.35%
①このファンドの費用の比率	1.32%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
- (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- (注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.35%です。

期中の売買及び取引の状況 (自 2023年9月26日 至 2024年3月25日)

投資信託証券

		第 21 期 ~ 第 22 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	UBS (CAY) ダイナミック・ チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□ 3,166	千円 208,000	□ 22,799	千円 1,373,000

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

利害関係人等との取引状況等 (自 2023年9月26日 至 2024年3月25日)

当作成期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表 (2024年3月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第10作成期末	第11作成期末 (第22期末)		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	□ 12,016	□ 12,016	千円 11	% 0.0
UBS (CAY) ダイナミック・ チャイナAシェア・ファンド (J Class)	59,802	40,169	2,560,715	98.2
合 計	71,818	52,185	2,560,727	98.2

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合。

投資信託財産の構成

(2024年3月25日現在)

項 目	第11作成期末 (第22期末)	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 11	% 0.0
投 資 証 券	2,560,715	97.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	76,521	2.9
投 資 信 託 財 産 総 額	2,637,247	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年12月25日) (2024年3月25日)

項 目	第 21 期 末	第 22 期 末
(A) 資 産	2,820,207,096円	2,637,247,094円
コール・ローン等	81,920,726	76,519,402
投資信託受益証券(評価額)	11,909	11,904
投 資 証 券(評価額)	2,738,274,461	2,560,715,778
未 収 利 息	-	10
(B) 負 債	44,625,755	28,269,480
未 払 解 約 金	31,923,446	19,128,995
未 払 信 託 報 酬	11,965,773	8,583,778
未 払 利 息	240	-
そ の 他 未 払 費 用	736,296	556,707
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,775,581,341	2,608,977,614
元 本	3,046,761,929	2,607,916,391
次 期 繰 越 損 益 金	△ 271,180,588	1,061,223
(D) 受 益 権 総 口 数	3,046,761,929口	2,607,916,391口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,110円	10,004円

(注1) 当ファンドの第21期首元本額は4,147,264,978円、第21～22期中追加設定元本額は103,921,227円、第21～22期中一部解約元本額は1,643,269,814円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第21期0.9110円、第22期1.0004円です。

損益の状況

第21期 (自2023年 9月26日 至2023年12月25日)
第22期 (自2023年12月26日 至2024年 3月25日)

項 目	第 21 期	第 22 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 27,710円	△ 17,023円
受 取 利 息	-	69
支 払 利 息	△ 27,710	△ 17,092
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△380,502,067	241,430,272
売 買 益	81,250,031	268,093,574
売 買 損	△461,752,098	△ 26,663,302
(C) 信 託 報 酬 等	△ 12,702,069	△ 9,140,485
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△393,231,846	232,272,764
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△561,732,074	△807,866,335
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	683,783,332	576,654,794
(配当等相当額)	(45,902,783)	(39,293,205)
(売買損益相当額)	(637,880,549)	(537,361,589)
(G) 計 (D+E+F)	△271,180,588	1,061,223
(H) 収 益 分 配 金	0	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△271,180,588	1,061,223
追 加 信 託 差 損 益 金	683,783,332	576,654,794
(配当等相当額)	(45,902,783)	(39,293,205)
(売買損益相当額)	(637,880,549)	(537,361,589)
分 配 準 備 積 立 金	159,855	192,030
繰 越 損 益 金	△955,123,775	△575,785,601

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第21期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (45,902,783円) および分配準備積立金 (159,855円) より分配対象収益は46,062,638円 (10,000口当たり151円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注5) 第22期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (39,293,205円) および分配準備積立金 (192,030円) より分配対象収益は39,485,235円 (10,000口当たり151円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

<約款変更のお知らせ>

デリバティブ取引の利用目的をより明確にし、信託期間を延長する変更を行いました。(約款変更実施日: 2023年12月26日)

UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（ケイマン籍外国投資信託）の運用状況

<参考情報>

当ファンドは「UBS中国A株ファンド（年4回決算型）」が投資対象とする外国投資信託証券です。ご参考として掲載されている以下の包括利益計算書は、2023年2月28日現在の現地Annual Reportからの抜粋であり、現地の会計基準に基づき作成され、監査を受けたものです。なお、投資有価証券明細表は当該監査の対象外であり、未監査のものを掲載しております。また、同一銘柄でも保管形態が異なる場合には、別個に表記しています。

包括利益計算書

2023年2月28日に終了する会計期間
米ドル

収益	
受取利息	18,819
受取配当金	4,530,424
損益を通じて公正価値で評価する金融資産に係る純利益（損失）	(38,762,114)
為替取引に係る収益（損失）	(842,603)
損失合計	<u>(35,055,474)</u>
費用	
運用管理報酬	1,502,877
保管事務費用	122,075
監査報酬	34,610
専門家費用	13,263
取引費用	268,723
その他営業費用	88,559
営業費用合計	<u>2,030,107</u>
税引前営業利益（損失）	(37,085,581)
配当金に係る源泉税	(454,583)
税引後営業利益（損失）	<u>(37,540,164)</u>
償還可能証券保有者に帰属すべき純資産増加額（減少額）	<u>(37,540,164)</u>

2023年2月28日現在の投資有価証券明細表 (未監査)

	銘柄名	数量	簿価 (米ドル)	時価 (米ドル)
株式				
中国元				
	GREE ELECTRIC APPLIANCES INC A SHS ORD CNY1	566,764	2,682,496.00	2,901,037.18
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	1,572,536	19,870,626.22	12,894,097.24
	GREE ELECTRIC APPLIANCES INC A SHS ORD CNY1	321,611	2,501,784.29	1,646,197.47
	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	43,400	13,148,911.34	11,343,389.33
	BANK OF NINGBO CO LTD A SHS ORD CNY1	618,100	3,431,395.60	2,631,160.33
	PING AN BANK CO LTD A SHS ORD CNY1	6,582,369	19,649,572.81	13,071,021.23
	LUZHOU LAOJIAO CO LTD A SHS ORD CNY1	173,943	5,899,459.74	6,266,499.99
	HANGZHOU SILAN MICROELECTRONIC ORD CNY 1	312,900	2,149,263.66	1,519,995.83
	PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	266,689	2,716,783.11	1,852,380.59
	WANHUA CHEMICAL GROUP CO LTD A SHS ORD CNY1	661,715	11,463,303.58	9,941,840.20
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	124,782	721,462.25	860,063.27
	PING AN BANK CO LTD A SHS ORD CNY1	345,484	756,728.05	686,049.16
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	471,552	2,917,425.18	3,250,184.77
	MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	893,857	10,546,746.30	6,757,318.82
	WUXI APPTec CO LTD A SHRS ORD CNY1	281,806	5,171,338.45	3,357,598.65
	MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	552,377	4,375,934.42	4,175,821.75
	CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	403,157	2,035,432.17	2,167,591.97
	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	1,516,340	15,114,517.25	9,505,258.38
	PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	1,760,300	20,303,712.79	12,226,771.77
	HANGZHOU TIGERMED CONSULTI-A SHRS ORD NPV	200,800	3,047,572.59	3,340,975.87
	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP COMPANY LIMITED A SHARES	1,749,404	10,830,070.73	7,678,883.75
	HUALAN BIOLOGICAL ENGINEERING INC A SHS ORD CNY1	740,147	5,188,620.12	2,366,755.33
	ANGEL YEAST CO LTD A ORD CNY1.00000000	841,349	6,329,937.79	4,903,039.67
	JOEONE CO LTD -A SHRS ORD CNY1	1,372,733	3,632,872.21	2,265,007.47
	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	37,866	396,759.85	237,365.05
	CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	2,157,465	15,515,289.47	11,599,708.80
	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	11,790	1,930,893.34	3,081,533.65
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	33,463	346,091.49	274,381.74
	中国元合計		192,675,000.80	142,801,929.26
	株式合計		192,675,000.80	142,801,929.26
総合計			192,675,000.80	142,801,929.26

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

参考情報

当ファンドは、UBS中国A株ファンド（年4回決算型）が投資対象とする国内投資信託証券です。
ご参考として第15期決算日（2024年1月22日）の運用状況をご報告申し上げます。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	税 込 配 金	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
				比	比	
11期（2020年1月20日）	円 9,967	円 0	% △0.2	% —	% —	百万円 40
12期（2021年1月20日）	9,953	0	△0.1	—	—	15
13期（2022年1月20日）	9,938	0	△0.2	—	—	8
14期（2023年1月20日）	9,924	0	△0.1	—	—	8
15期（2024年1月22日）	9,910	0	△0.1	—	—	8

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2023年 1月20日	円 9,924	% —	% —	% —
1月末	9,924	0.0	—	—
2月末	9,923	△0.0	—	—
3月末	9,921	△0.0	—	—
4月末	9,921	△0.0	—	—
5月末	9,918	△0.1	—	—
6月末	9,918	△0.1	—	—
7月末	9,917	△0.1	—	—
8月末	9,915	△0.1	—	—
9月末	9,914	△0.1	—	—
10月末	9,913	△0.1	—	—
11月末	9,911	△0.1	—	—
12月末	9,911	△0.1	—	—
(期 末) 2024年 1月22日	9,910	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

分配原資の内訳（1万口当たり・税引前）

項目	第15期	
	2023年1月21日～2024年1月22日	
当期分配金	-円	
（対基準価額比率）	（-％）	
当期の収益	-円	
当期の収益以外	-円	
翌期繰越分配対象額	75円	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023/1/21～2024/1/22		
	金額	比率	
信託報酬	4円	0.044%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,917円です。
(投信会社)	(1)	(0.011)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.032)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.003)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	4	0.047	

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

親投資信託受益証券の設定、解約状況（自 2023年1月21日 至 2024年1月22日）

	設		定		解		約	
	□	数	金	額	□	数	金	額
		千□		千円		千□		千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド		—		—		21		21

(注) 単位未満は切り捨て。

利害関係人等との取引状況等（自 2023年1月21日 至 2024年1月22日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表

親投資信託残高

(2024年1月22日現在)

項目	期 首		当 期		評 価 額
	□	数	□	数	
		千□		千□	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド		8,696		8,674	8,651

(注) □数・評価額の単位未満は切り捨て。

投資信託財産の構成

(2024年1月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	千円 8,651	% 99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	11	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	8,662	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年1月22日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,662,353円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,622
UBS短期円金利プラス・マザーファンド(評価額)	8,651,731
(B) 負 債	1,970
未 払 信 託 報 酬	1,888
そ の 他 未 払 費 用	82
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	8,660,383
元 本	8,739,342
次 期 繰 越 損 益 金	△ 78,959
(D) 受 益 権 総 口 数	8,739,342口
1口当たり基準価額(C/D)	9,910円

〈注記事項〉

期首元本額 8,759,458円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 20,116円
 1口当たり純資産額 0.9910円
 純資産総額が元本を下回っており、その差額は78,959円です。

損益の状況

(自2023年1月21日 至2024年1月22日)

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 8,677円
売 買 益	2
売 買 損	△ 8,679
(B) 信 託 報 酬 等	△ 3,887
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△ 12,564
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 68,752
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,357
(配 当 等 相 当 額)	(4,953)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,596)
(F) 計 (C+D+E)	△ 78,959
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	△ 78,959
追 加 信 託 差 損 益 金	2,357
(配 当 等 相 当 額)	(4,953)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,596)
分 配 準 備 積 立 金	60,755
繰 越 損 益 金	△142,071

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (4,953円) および分配準備積立金 (60,755円) より分配対象収益は65,708円 (10,000口当たり75円) ですが、分配を行っておりません。

UBS短期円金利プラス・マザーファンドの運用状況

参考情報

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ご参考として、第15期決算日（2024年1月22日）の運用状況をご報告申し上げます。

UBS短期円金利プラス・マザーファンド

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
			比	比	
11期（2020年1月20日）	円 10,014	% △0.1	% —	% —	百万円 40
12期（2021年1月20日）	10,004	△0.1	—	—	15
13期（2022年1月20日）	9,994	△0.1	—	—	8
14期（2023年1月20日）	9,984	△0.1	—	—	8
15期（2024年1月22日）	9,974	△0.1	—	—	8

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2023年 1月20日	円 9,984	% —	% —	% —
1月末	9,984	0.0	—	—
2月末	9,983	△0.0	—	—
3月末	9,982	△0.0	—	—
4月末	9,982	△0.0	—	—
5月末	9,980	△0.0	—	—
6月末	9,980	△0.0	—	—
7月末	9,979	△0.1	—	—
8月末	9,978	△0.1	—	—
9月末	9,977	△0.1	—	—
10月末	9,976	△0.1	—	—
11月末	9,975	△0.1	—	—
12月末	9,975	△0.1	—	—
(期 末) 2024年 1月22日	9,974	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

1万円当たりの費用明細

項目	当期 2023/1/21~2024/1/22		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.001% (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 金銭信託手数料
合計	0	0.001	

※期中の平均基準価額は9,979円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

期中の売買及び取引の状況（自 2023年1月21日 至 2024年1月22日）

該当事項はありません。

主要な売買銘柄（自 2023年1月21日 至 2024年1月22日）

該当事項はありません。

利害関係人等との取引状況等（自 2023年1月21日 至 2024年1月22日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表（2024年1月22日現在）

2024年1月22日現在、有価証券等の組入はありません。

(2024年1月22日現在)

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 8,651	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	8,651	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年1月22日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,651,589円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	8,651,589
(B) 負 債	25
未 払 利 息	25
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	8,651,564
元 本	8,674,285
次 期 繰 越 損 益 金	△ 22,721
(D) 受 益 権 総 口 数	8,674,285口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	9,974円

〈注記事項〉

期首元本額 8,696,224円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 21,939円
 1口当たり純資産額 0.9974円
 純資産総額が元本を下回っており、その差額は22,721円です。

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け) 8,674,285円

損益の状況

(自2023年1月21日 至2024年1月22日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 8,831円
支 払 利 息	△ 8,831
(B) 信 託 報 酬 等	△ 130
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△ 8,961
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 13,799
(E) 解 約 差 損 益 金	39
(F) 計 (C+D+E)	△ 22,721
次 期 繰 越 損 益 金(F)	△ 22,721

(注1) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。